

施策マネジメントシート(2018年度の振り返り、総括)

作成日 2019 年 6 月 24 日

基本目標	II	豊かな自然と共生するまち	主管課	名称 農政課 課長 原澤 真治郎
施策	16	獣害対策の推進	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
町民	鳥獣による被害にあわない。		1 鳥獣が出没しにくい環境整備	町民	鳥獣による被害の危険性が軽減される。
			2 農林産物被害の軽減	農家	鳥獣による農林産物の被害が軽減される。
			3 人的被害対策の推進	町民	鳥獣による人身被害にあわない。
			4		

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民と行政が一体となり、野生鳥獣が出没しにくい環境整備を推進します。</li> <li>・被害関係者と協働による侵入防止柵等の守る対策や、追い払い活動を推進するとともに、捕獲活動を強化し、鳥獣被害の軽減を図ります。</li> <li>・出沒・目撃情報の収集と提供により、事故の未然防止や安全確保に努めます。</li> </ul>
---------	--

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
				A	鳥獣による農林産物被害金額	千円	実績値	7,455	7,221	6,454
B	鳥獣による農林産物被害面積	ha	実績値	9.0	8.4	8.6				
			目標値		9.0	9.0	8.5	8.0	7.5	7.0
C			実績値							
			目標値							
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法	A)B) 被害が減少すれば対策の効果が現れているといえるため、成果指標とした。 (野生鳥獣による農作物の被害状況調査により把握)
-------------------	---

目標値設定の考え方	A)B) 農業被害額は2016年で約7,500千円であるが、有害鳥獣の出没目撃数が隔年で増減し、成り行き値では想定できないが、侵入防止柵(電牧柵)の設置支援や追い払い、個体数調整(捕獲)などに取り組むことにより、被害額・被害面積の増加を抑制する。
-----------	---

施策のための役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未収穫農産物や野菜くず等を農地に放棄しない。</li> <li>・出沒した鳥獣の追い払いを行う。</li> <li>・農地の荒廃化を防ぎ、集落に隣接する林野の刈り払いを行うなど、獣が出没しにくい環境を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・獣が出没しにくい環境を整備するための支援を行う。</li> <li>・有害鳥獣の個体数調整を行う。</li> </ul>

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣保護法が改正され、以前より駆除等に取り組みやすくなった。一例として一定の条件のもと捕獲業務を民間事業者へ委託することや、夜間の銃器駆除も許可を受けることにより可能になった。</li> <li>・県の適正管理計画(シカ、イノシシ、サル、カワウなど)の策定により、捕獲目標頭数が明確に示された。基本的には個体数を減少させ被害額の軽減に努めることであるが、サルについては群れの数を83群から50群(平成15年度水準)としており、広域による取り組みが求められる。</li> <li>・イノシシやシカやクマ、サル等の市街地への出沒が確認されており、獣害対策は中山間地域の課題では済まなくなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林業で獣害被害に不安を感じるとの意見が多くある(町民アンケート)。</li> <li>・有害鳥獣の駆除を可能な限りしていただきたい(町民アンケート)。</li> <li>・獣害パトロールによる成果が見えにくい(町民アンケート)。</li> <li>・捕獲個体の処理施設の設置要望がある(捕獲従事者から)。</li> </ul>

施策	16	獣害対策の推進	主管課	名称	農政課
				課長	原澤 真治郎

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因																				
	①時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①被害面積が8～9ha(同レベル)であるが、被害額は平成30年度6,454千円と減少傾向にある。侵入防止柵(電牧柵)の設置について、平成28年度8.7km、平成29年度8.2km、平成30年度4.9km、平成30年度末で累計約170kmの整備をおこなった効果が現れてきていると思われる。また、地域での追い払い活動を推進するため、町から追い払い用煙火を支給している。平成28年度4,927個、平成29年度3,266個、平成30年度3,514個が使用され地域ぐるみの取り組みが行われるようになり、被害が軽減されたことが要因の一つになったと考えられる。																				
	②他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①利根沼田管内の自治体で本町と同様に対策獣害対策センターを設けて対策に当たっている自治体は存在しない。本町は専門的な組織の活動により他団体と同水準を保っている。 ②平成29年度における管内のデータ ※()は平成28・27年度の順 <table border="1"> <thead> <tr> <th>市町村名</th> <th>被害面積(ha)</th> <th>被害金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沼田市</td> <td>9.22 (9.53・8.79)</td> <td>7,029 (10,390・13,832)</td> </tr> <tr> <td>片品村</td> <td>9.88 (7.08・7.06)</td> <td>3,506 (3,547・3,574)</td> </tr> <tr> <td>川場村</td> <td>0.36 (0.41・0.65)</td> <td>976 (1,017・1,102)</td> </tr> <tr> <td>昭和村</td> <td>5.34 (6.20・5.99)</td> <td>6,461 (7,224・7,813)</td> </tr> <tr> <td>みなかみ町</td> <td>8.49 (8.96・8.52)</td> <td>7,221 (7,455・6,875)</td> </tr> </tbody> </table>			市町村名	被害面積(ha)	被害金額(千円)	沼田市	9.22 (9.53・8.79)	7,029 (10,390・13,832)	片品村	9.88 (7.08・7.06)	3,506 (3,547・3,574)	川場村	0.36 (0.41・0.65)	976 (1,017・1,102)	昭和村	5.34 (6.20・5.99)	6,461 (7,224・7,813)	みなかみ町	8.49 (8.96・8.52)	7,221 (7,455・6,875)
	市町村名	被害面積(ha)	被害金額(千円)																				
沼田市	9.22 (9.53・8.79)	7,029 (10,390・13,832)																					
片品村	9.88 (7.08・7.06)	3,506 (3,547・3,574)																					
川場村	0.36 (0.41・0.65)	976 (1,017・1,102)																					
昭和村	5.34 (6.20・5.99)	6,461 (7,224・7,813)																					
みなかみ町	8.49 (8.96・8.52)	7,221 (7,455・6,875)																					
③目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①被害金額目標7,000千円に対し実績値6,454千円、被害面積目標値9.0haに対し実績値8.6haとなり、ともに目標を上回った。																					

基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				1 鳥獣が出没しにくい環境整備	A 鳥獣追い払い用花火等の配布数/追い払い煙火受講者数	個/人	実績値	4,927/178	3,272/181	3,514/190
			目標値		5,000/181	5,000/185	5,000/190	5,000/195	5,000/200	5,000/200
	B		実績値							
			目標値							
2 農林産物被害の軽減	A 侵入防止柵の延長	km	実績値	8.7	8.2	4.9				
			目標値		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	B		実績値							
			目標値							
3 人的被害対策の推進	A 獣による人的被害者数(町内の人/町外の人)	件	実績値	0/2	0/1	2/2				
			目標値		0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0
	B		実績値							
			目標値							
4	A		実績値							
			目標値							
	B		実績値							
			目標値							

基本事業名	今後の課題		今後の取り組み(案)	
	1 鳥獣が出没しにくい環境整備	①森林整備が実施された後の管理がなされないため、効果が十分発揮されない地区も存在することから、地域での刈り払い活動の継続が必要である。 ②地域活動による追い払いの強化。	①森林整備を持続するため「緑の県民税」や「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」等を活用し、住民が参加する持続的な活動を促す。 ②地域活動として追い払いに取り組めるよう、駆逐煙火講習会の開催・支給支援を継続する。	
2 農林産物被害の軽減	①侵入防止柵の整備を推進しているが、補助対象となる区域設定が難しい農地が残ってしまったため、町単独事業としての支援が求められている。近年出没鳥獣が変化し既存の施設では対応が難しくなっている。 ②実施隊(猟友会)の高齢化と人員の減少。	①町農林業振興事業補助金交付要綱を見直し、侵入防止柵設置者(生産者)への支援を検討する。 ②安全講習会の継続開催により銃器使用者への啓発に努めるとともに、有害鳥獣捕獲のための狩猟者登録等の支援を行う。		
3 人的被害対策の推進	①人的被害は狩猟期以外の山菜・キノコ採り等において発生する、ツキノワグマの加害ケースが多く、被害に遭わないための周知が課題となっている。 ②ニホンザルの市街地への出没や通学路での目撃は続いており、住民や観光客などに配慮した対策を講ずる必要がある。	①登山道等への周知看板設置の継続的な取り組み。 ②有害鳥獣のパトロールに取り組みとともに、出没情報を防災メールや広報車等で周知し、町民等(農業従事者を含む)が対策を講じやすいよう情報提供を行う。		
4				

## 16\_獣害対策の推進

平成 30 年 8 月 1 日作成 (令和 元 年 7 月 2 日更新)

事務事業	000001	有害鳥獣情報収集・管理事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	6,378,750 円		
施策体系	施策	16	獣害対策の推進			有害鳥獣の出没及び被害状況の情報収集し、農林産物等の被害低減に役立てる。また、猿追跡用発信器取付に係る、麻薬使用許可の申請及び捕獲野猿麻酔用薬剤購入、野猿追跡調査員の選定、指導、委託契約事務。	特になし	事業実績			
	基本事業	01	鳥獣が出没しにくい環境整備					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	追跡調査員数	
根拠	無	組織	農政	課	獣害対策センター 係	出没情報等収集した情報を農作物被害の低減に役立てる必要がある。	特になし	平成29年度	平成30年度	単位	
事業期間	継続事業 ～ 年間		会計	1 款	6 項			2 目	2	5	5

平成 30 年 8 月 1 日作成 (令和 元 年 7 月 2 日更新)

事務事業	000003	鳥獣被害対策実施隊運営事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,717,356 円		
施策体系	施策	16	獣害対策の推進			鳥獣被害対策実施隊を編成し対象鳥獣(ニホンザル)の追い払い及び捕獲を行う	特になし	事業実績			
	基本事業	01	鳥獣が出没しにくい環境整備					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	ニホンザル捕獲数	
根拠	有	組織	農政	課	獣害対策センター 係	・実施隊員は実施隊活動を生業としていないため、活動を充実させることは個人の負担が増加する。 ・住民の理解をえることはもちろんのこと、行政による支援を充実させる必要がある。	特になし	平成29年度	平成30年度	単位	
事業期間	継続事業 H ～ 年間		会計	1 款	6 項			2 目	2	136	108

平成 30 年 8 月 1 日作成 (令和 元 年 7 月 2 日更新)

事務事業	000004	鳥獣被害防止パトロール事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	263,230 円		
施策体系	施策	16	獣害対策の推進			臨時職員としてパトロール隊員を雇用して、捕獲オリの設置・見回り・捕獲・処分を実施する他、有害鳥獣の追い払いパトロールを実施する。	特になし	事業実績			
	基本事業	01	鳥獣が出没しにくい環境整備					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	有害鳥獣の捕獲数	
根拠	無	組織	農政	課	獣害対策センター 係	地域住民や農業者が追い払い活動に参加できる仕組みづくり	特になし	平成29年度	平成30年度	単位	
事業期間	継続事業 H ～ 年間		会計	1 款	6 項			2 目	2	790	855

平成 30 年 8 月 1 日作成 (令和 元 年 7 月 2 日更新)

事務事業	000001	有害鳥獣捕獲奨励金交付事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	6,701,000 円		
施策体系	施策	16	獣害対策の推進			イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、ハクビシン、アライグマの捕獲及び処分することにより奨励金を交付する。	特になし	事業実績			
	基本事業	02	農林産物被害の軽減					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	奨励金支払件数	
根拠	有	組織	農政	課	獣害対策センター 係	有害鳥獣の捕獲資格者は、捕獲活動を生業としていないため、活動を充実させることは個人の負担が増加する。 住民の理解を得ることはもちろんのこと、行政による支援を充実させる必要がある。	特になし	平成29年度	平成30年度	単位	
事業期間	継続事業 H ～ 年間		会計	1 款	6 項			2 目	2	193	251

## 16\_獣害対策の推進

平成 30 年 8 月 1 日作成 (令和 元 年 7 月 2 日更新)

事務事業	000002		困いわな・捕獲おり貸出事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	43,790 円			
施策体系	施策	16	獣害対策の推進				困いワナ・捕獲オリ等の有害鳥獣の捕獲用具を購入し必要に応じて貸し出しを行う。	特になし	事業実績				
	基本事業	02	農林産物被害の軽減						貸し出し件数 (ハクビシン檻+イノシシ檻+ククリワナ)				
根拠	有	組織	農政	課	獣害対策センター 係		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度	単位		
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	6	項	2	目	2	1,075	1,100	件
地域との協力、わな免許の取得者を増やす。							特になし						

平成 30 年 8 月 1 日作成 (令和 元 年 7 月 2 日更新)

事務事業	000003		有害鳥獣追い払い事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	761,770 円			
施策体系	施策	16	獣害対策の推進				有害鳥獣の農作物等被害を軽減するため、追い払いの資材(轟音玉、駆除雷3連発等)を購入し、農業者等追い払いを実施する方に交付する。	特になし	事業実績				
	基本事業	02	農林産物被害の軽減						資材(轟音玉、駆除雷3連発等)交付件数				
根拠	無	組織	農政	課	獣害対策センター 係		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度	単位		
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	6	項	2	目	2	3,266	3,514	本個
農業者等に積極的に追い払いに協力してもらう必要がある。							特になし						

平成 30 年 8 月 1 日作成 (令和 元 年 7 月 2 日更新)

事務事業	000004		猟友会活動支援事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,710,000 円			
施策体系	施策	16	獣害対策の推進				利根沼田猟友会月夜野支部、水上支部、新治支部の運営全般に渡る事務を行う。	特になし	事業実績				
	基本事業	02	農林産物被害の軽減						猟友会員数				
根拠	無	組織	農政	課	獣害対策センター 係		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度	単位		
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	6	項	2	目	2	103	103	人
新規入会者が少ないため、高齢化が進んでいる。							特になし						

平成 30 年 8 月 1 日作成 (令和 元 年 7 月 2 日更新)

事務事業	000005		有害鳥獣侵入防止柵設置事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,491,040 円			
施策体系	施策	16	獣害対策の推進				有害鳥獣が田畑等に侵入するのを防ぐため電気柵等の侵入防止柵を設置する費用に対する補助金の交付。	特になし	事業実績				
	基本事業	02	農林産物被害の軽減						電気柵設置力所数				
根拠	無	組織	農政	課	獣害対策センター 係		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度	単位		
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	6	項	2	目	2	6	4	力所
電気柵を設置していない田畑等に有害鳥獣が出没が増えている。							特になし						